◇ 清 水 均

○議長（清水満） それでは休憩前に引き続き会議を再開します。一般質問を続けます。

発言順位 7 番、議席番号 1 番、清水均議員を指名します。清水均議員。

〔1 番 清水均 登壇〕

○1 番（清水均） 議席番号 1、清水均です。通告に従いまして順次質問させていただきます。

今日は喉の調子が良くないものですからお聞き苦しい点があると思いますが、よろしく願いしたいと思います。

最初に飯綱東高原の現状と将来についてお伺いいたします。

町長は、既にいづなりリゾートスキー場を 2018 年度末までに売却して完全民営化を図るか、それが実現できなければ廃止という方向を示されました。

しかし、民宿、ペンション、別荘等の周辺の関係者からはスキー場がなくなったら経営をやめざるを得ないという話が出ております。今まで存続してきた民宿、ペンション、別荘の一部等は住居地であるとともに営業場所でもあります。

人口減少に歯止めをかけるためにも農業関係も非常に大切ではありますが、飯綱東高原を生活の場としている方もおり、また幼児から老若男女の憩いの場としても重要な役割を果たしており、観光地としても将来続けていくことが重要と考えます。そこで、この問題を巡って何点か順次お伺いいたします。

私の質問事項に対して、おおかた回答されましたが、質問に立たせていただいたのでダブる箇所があるかもしれませんが、答弁よろしく願いいたします。

まず 1 として、スキー場の民間への売却の現状と将来見通しについて明らかにできる範囲で町長、答弁をお願いいたします。

○議長（清水満） 峯村町長。

〔町長 峯村勝盛 登壇〕

○町長（峯村勝盛） 昨日、スキー場の件については答弁をさせていただきましたけれども、現在 3 社と進行中で、プラス 3 社が控えております。計 6 社と今のところ交渉、またはこれから

交渉する相手であると申し上げました。その状況にはもちろん変わりはありません。

昨日も申し上げましたが、かなり興味を持っていただいている会社もございますので、この時点で99パーセント大丈夫とは申し上げられませんが、かなり見込みがあるものと思っ
て鋭意努力していきたいと思っています。

○議長（清水満） 清水議員。

○1番（清水均） 次に移ります。売却条件はスキー場単独で行う予定か、それとも飯綱東高原のゴルフ場とセットで売却するのか、この点についても町の方針は明確になっているかどうか、町長にお伺いいたします。

○議長（清水満） 峯村町長。

〔町長 峯村勝盛 登壇〕

○町長（峯村勝盛） 飯綱高原ゴルフコースは地域開発公団が撤退する時に、私はタダで置いていって欲しいと申し上げた1人ですが、タダというわけにはいかなくて、ここでは値段を申し上げませんが、有償で譲り受けた経過がございます。

従って、本来昔からスキー場とゴルフ場はセットとして地域開発公団が経営をしてきたところでございます。冬はスキー、ちょうどスキーシーズンが終わればゴルフシーズンということで、従業員の皆さん等々の年間の雇用という点でもバランスの取れた職場であったと思っております。

これを一体として、どうしても売却して欲しいという希望があるとすれば、これについても柔軟に考えていきたいと思っています。最初からセットというようなお話は申し上げておりません。あくまでスタートはスキー場を何とか受け取っていただける人ということで探しておりますけれども、その希望の中でそういう話が出てくれば柔軟に対応したいと思っておりますが、重要なことは、今、指定管理でオーガニックさんに出しておりますので、その期間が満了するというようなことも踏まえた中で対応していかなければならないだろうと思っています。

○議長（清水満） 清水議員。

○1番（清水均） それでは次に移ります。仮に廃止という事態になった場合、飯綱東高原の民

宿、ペンションや別荘などの周辺の観光関係者への対応はどのように考えているか、これも町長にお伺いいたします。

○議長（清水満） 峯村町長。

〔町長 峯村勝盛 登壇〕

○町長（峯村勝盛） これが1番の悩みではございます。民宿、ペンション、別荘を購入された皆さんの中にもスキー場に大きな魅力を感じて購入をしたというような方もいらっしゃるだろうと思っております。

ただ、スキー場というものを最初から全く運営してこなくて、とうとう町はスキー場を作らなかったという、そういう意味での違反はないというふうにも承知しておりますけれども、ここまで運営をしてきて、昭和56年に白馬観光が出てきて以来、これだけの歴史を残してスキー場を運営してきた結果として、スキー場の経営が極めて町の財政等々に勘案して苦しい、これ以上続けていかれないということについては、しっかりご説明をしなければならないだろうと思っておりますのと同時に、今、現実でも1、2のペンションの皆さんは、冬場よりもうちは夏場の方がお客さんは多いですというところもございます。しかし、冬場にお客さんがゼロだということではないので、冬場をクリアするだけのお客さんをどう集めるかという問題はございます。

飯綱東高原のあり方についての研究会を開いて、その報告書をこの間いただきました。原点に戻って良さをもう1回作り上げようと。それには大きな意味でグリーンシーズンの自然をいかした素晴らしい構想が出ておりました。また、農家民泊の話も出てきましたが、これも来年度に事業を導入して、農水省直轄の事業で、農泊はペンションや民宿もオッケーだということでございます。

そういうグリーンシーズンのやはりレベルアップ、誘客、これに最大の力を傾けて、何とかお客さんが年間を通して、逆に伸びるぐらいな勢いで、もう1回挑戦をしていきたいと思っております。そんなことをしっかり計画を立てたり説明を申し上げたりというようなことをしていかなければならないと思っておりますけれど、しかし、今の希望としては何とか冬のスキー場の

6万人、7万人のお客さんが来るという、これだけの観光イベントは他には考えられませんので、何とか存続できるかたちがとればという強い希望は持っております。

○議長（清水満） 清水議員。

○1番（清水均） ありがとうございます。これから飯綱東高原エリア研究会の話をしようかと思ったら先にやられたものですから、またこの次にとと思いますが、結論に至ったような内容について、何かあったらお願いしたいと思います。

○議長（清水満） 土屋産業観光課長。

〔産業観光課長 土屋龍彦 登壇〕

○産業観光課長（土屋龍彦） それではお答えいたします。先ほど町長からも話があったとおり、11月14日にエリア研究会の報告書が会長から町長に提出をされました。

研究会では豊富な自然、霊仙寺山、農畜産物、既存観光施設など、今ある資源を活用して飯綱東高原を大人が癒される本物のリゾートに変えていくという考え方をまとめております。

研究会からは、多くの具体的な提案が出されているところでございます。そのうち、短期的に行う事業につきましては、平成30年度予算に反映し、担当課としては予算要求をしていきたいと考えております。

また、中長期的に行う事業につきましては、費用対効果を考慮しながら計画的に進めてまいりたいと考えておりますので、よろしく申し上げます。以上でございます。

○議長（清水満） 清水議員。

○1番（清水均） 今回、傍聴に会長さんが来ているわけですが、もう少し詳しくお願いしたいと思います。

○議長（清水満） 土屋産業観光課長。

〔産業観光課長 土屋龍彦 登壇〕

○産業観光課長（土屋龍彦） もう少し詳細にということでございますので、エリア研究会から出していただいております具体的提案が4点あるわけですが、その4点を説明させていただきます。

まず1つ目として、豊富な自然をいかすために景観の整備、里山の適正管理を提案していただいております。

2つ目といたしまして、霊仙寺山をいかすために天狗伝説の活用、登山道の活用、霊仙寺山からの景観と星空の活用、スキー場のゲレンデ、施設の活用を提案されております。

3つ目として、農産物、畜産物、そして天然の食材をいかすために高原レストランの開設、農家が直売する市場の開設、農泊の推進及びクライガルテンの設置等を提案されております。

4つ目として、既存の観光施設をいかすために飯綱高原ゴルフコースの活用、天狗の館の活用、総合グラウンドの活用、テニスコートの活用、霊仙寺湖の活用、ドッグランの活用、別荘の活用等を提案いただいております。以上でございます。

○議長（清水満） 清水議員。

○1番（清水均） 既存にあるものを十分に使いやっつけていければ、なお良いのではないかと思います。

その次に、関係者が希望を持てるような新たな方策についてということになっておりますが、今、お話いただいたものですから次に移ります。

地域おこし協力隊を活用した東高原エリアの観光振興の取り組みについて考えはあるか、町長にお伺いいたします。

○議長（清水満） 峯村町長。

〔町長 峯村勝盛 登壇〕

○町長（峯村勝盛） 昨日の一般質問の中にも、地域おこし協力隊をうまく任用して活性化に繋げてはというお話がございました。

結局、飯綱東高原を、どういう客層を対象とした、どういう地域にしていくかというイメージづくりが大事であって、例えば若者をというよりも、中高年に孫が絡んだような徹底した場所にしようというようなことであるなら、中高年向きに非常においしいランチを作ることを目指したいような人を地域おこし協力隊員として採用するかと。例えば、国際21などへ半日通い、そして半日はこちらの現地で食事を作るとか、そういう地域おこし協力隊。

もう1つは、里山インストラクターみたいに自分で良いコースを作って、3時間、5時間の散策コースをご案内して、植物の名前もよく知っている等々のインストラクターをやってもらうような地域おこし協力隊。

こういう目的の中で地域おこし協力隊に来ていただいて活躍いただく。これが方向としては良いと思っているし、これからの運用でございますけれども、関係の皆さんと相談をしながら、どういうスタイルの、どういう気持ちのある地域おこし協力隊が必要なのかという、しっかりとしたイメージを持って対応していきたいと思います。

○議長（清水満） 清水議員。

○1番（清水均） 地域おこし協力隊も不足しているらしいですが、是非、そのようなインストラクターをお願いしたいと思います。

次に、入湯税の活用方法についてどのような事業に充てているのか。これは目的税ですので、有効な使い方をすべきと考えますが、町長にお伺いしてよろしいでしょうか。

○議長（清水満） 峯村町長。

〔町長 峯村勝盛 登壇〕

○町長（峯村勝盛） ご指摘のとおり入湯税は目的税でございまして、消防とか道路の整備とか、または関係地域、上村、東高原地域が指定になると思いますが、その地域の振興策とか、そういう制約がございます。

年間1,000万近い入湯税の収入がございますが、現状でも十分除雪から始まって消防の整備等々で、もうその金額は充当されていると思っておりますけれども、1つはいろいろスキー場問題絡みの中からお話が出てきておりますけれども、観光業務というのは毎年一定の資金投資をしていかないと、目新しくなくなって、衰えていってしまうという性格の事業だとすれば、毎年そこに充当すべき金額としては飯綱東高原のゴルフ利用税400万弱、そして温泉の入湯税1,000万、そしてオーガニックさんからの年間施設利用料等々で六百数十万円を納めてもらっておりますけれども、そこら辺のトータル2,000万程度の金額を財源として、東高原地域、併せて上村、東高原区の施設整備等々への財源にしていくというのが、本来の使い道ではないか

と思っております。

○議長（清水満） 清水議員。

○1番（清水均） 是非、そのような使い方をしていただき、東高原を活発にさせていただければと思っております。

次に2ですが、集落創生交付金事業についてでございます。

町が現在進めている集落創生事業は集落の新たなコミュニティ作りに繋がる大変重要な事業であります。

今後、この事業の前進のために以下について伺いたします。

括弧1として、この事業の現状について、進んでいる集落の取り組みの経過と現状の特徴は何かについて町長にお伺いたします。

○議長（清水満） 徳永企画課長。

〔企画課長 徳永裕二 登壇〕

○企画課長（徳永裕二） それでは私からお答えをさせていただきたいと思えます。この集落創生事業につきましては、企画課も非常に重要な事業であると考えているところでございます。

現在、その将来プランが作成された地区、昨日も少しお話をさせていただきましたけれども、中宿区、横手区、上村区、それから普光寺東部組、普光寺中部組、この5地区でございまして、このうち、今、計画に掲げた事業を実際行っているのは中宿区、横手区ということになっております。

ご質問の進んでいる集落の特徴をということでございますけれども、昨日も少しお話をさせていただきましたが、いずれの地区も若者であったり女性など、こういった方を中心としたけん引役、引っ張っていく方がしっかりしているということだと思っております。

逆に少し慎重な集落につきましては、こうした人材が見つからないですとか、計画を策定するのはいいですが、実際にそれを実行していく人材が見つからない。そういったことが原因かと思っております。

また、各集落の役員さんは既にいろいろなことがあり過ぎて、新たなことまで手が回らない、

このような状況であると考えているところでございます。

○議長（清水満） 清水議員。

○1番（清水均） 取り組みが進んでいない集落の問題点、要因については、今、話をしたのでいいわけですか。

○議長（清水満） 徳永企画課長。

〔企画課長 徳永裕二 登壇〕

○企画課長（徳永裕二） はい、今お話をさせていただいたとおりでございまして、先ほど若い方、女性を中心にけん引役がいるところは進んでいるというお話を申し上げましたけれども、比較的遅れているところについては、人材が見つからない、役員さんがいろいろと忙しくて手が回らないというのが実情かと思っております。

○議長（清水満） 清水議員。

○1番（清水均） 次に、町職員の地域担当制による計画づくりのサポートの成果は上がっているか。また、その後、総括責任者は明確になったかについてお伺いいたします。

○議長（清水満） 徳永企画課長。

〔企画課長 徳永裕二 登壇〕

○企画課長（徳永裕二） お答えをさせていただきたいと思います。計画の策定、計画に沿った事業の実施にあたりまして、人選というのは、やはり区、組で行っていただくことになると思うわけですが、企画課としても事業の説明会を行う際には、区、組の役員さんだけではなく、若い方、また女性の方にもこの説明会に参加していただくなど、お願いしているところでありまして、若者や女性の皆さんに、是非、本事業の趣旨をご理解いただく機会をさらに作ってまいりたいと思っております。

また、計画の策定や事業の実施にあたっては、企画課の地域振興係の職員や地域担当職員がお伺いして、集落とともに進めさせていただいているところです。取り組みがされていない集落につきましては、職員地域担当制のリーダー、各課長になりますけれども、区長さん、組長さんに電話連絡をさせていただくなど、各自工夫をしていただいで、取り組みや働きかけなど

もしているところでございます。

全体的な責任者、統括的な責任者ということですが、企画課が主体となって進めているわけですが、副町長を中心に課長会議等でもこういった話もしているところでございます。

○議長（清水満） 清水議員。

○1番（清水均） 通告質問事項とだいぶ変わったりしておるわけですが、先ほども言ったように、おおかた回答されたものですから、昨日、一生懸命に夜考えて、それでやっておりますので、よろしくお願ひしたいと思います。

今後、この事業が一層前進のために先進的集落を指定し、新たなモデルづくりに努力をすべきではないかと思いますが、町長お願ひいたします。

○議長（清水満） 峯村町長。

〔町長 峯村勝盛 登壇〕

○町長（峯村勝盛） お答え申し上げます。本当にソフトで地味な事業ですが、とても大切な事業だと思っております。

ただ、町が何か地域活性化をやれと言うからみんな集まれ、こんな忙しい時に嫌だけど仕方がないという、まだそういうスタンスであって、本当に地域としてこのままいってしまえば、集落で5年後には誰も小学校へあがる子どもがいなくて、お祭りでは芋川神社の坂が上がらなくなるのではないかというような、そういうことから集まろうと。酒飲みながらいろいろな話しをしようじゃないかぐらいからスタートして欲しいというのが本音ですが、どうも出てこいと言われるから出てきたという段階の状況では、私はまだまだいろいろな意味での地域をどうしようというような議論にはならないのではないかと考えています。

そういう状況の中にあって、町は皆さんにどういう仕掛けをさせていけばいいのか。少し今までのスタンスを変えて、私は一杯飲むのが好きな方ですが、地域に週末カフェでも開くようなことを考えて、若い衆も中年の皆さんも集まってきて、いろいろなことをどうだこうだと話すような場所、人が集まってくれるような場所みたいなもの設定も必要なのかなと思います。

学校の跡地利用も、そういう意味では1つの場所かなと思っていますが、とにかく今のまま、やれと言っても、2年間やってきた経過を見ますと、少し矛先を変えて、担当といろいろ相談をして皆さんに呼び掛けていきたいと思います。しかし、これをやらなければ、町もこれを真剣に取り組まなければ、飯綱町はじり貧で終わっていくことは間違いないと思っております。

○議長（清水満） 清水議員。

○1番（清水均） 先月の19日に先進地である中宿の集落活性化事業を視察に行きました。

内容については、40軒という集落ではありますが、区長さんを中心に立ち上げた活性化事業は、中宿公民館において、思い出の写真、各家の財宝、絵画、子どもたちの描いた絵、思い出のビデオ、そして奥様方の手作りの料理を会食しながら昔の話に談笑し、弾む心に微笑ましい老若男女の姿を拝見してきました。

このような事業を行うことにより、一層集落の団結が強くなり、発展を見るのではないかと感じました。

先進地の取り組みを参考にさせていただき、積極的に地域担当職員との連携を図りながら、事業を進めていくことについて期待をしておりますが、この取り組みについての感想を町長にお願いしたいと思います。

○議長（清水満） 峯村町長。

〔町長 峯村勝盛 登壇〕

○町長（峯村勝盛） 中宿、横手、非常にまとまりが良くて、中宿は洒落ているじゃないですか。

田休みコンサート。そういう粋な計らいを、しかも旧農協さんの米の倉庫を使って、かなり有名な人たちを呼んでやっている。こういうところを1つのサンプルとするのも大いに結構だと思いますし、私は平出に住んでおりますけれども、平出の人ほど長野へ行くバスが大事な地域はないわけで、バスを使った長野市との交流みたいなものはできないとか、今度議員さんが出ましたけれども、私は御所之入のあの素晴らしい獅子舞を見させていただいて感動して涙が出るくらい、こんな素晴らしい獅子舞があるかなど。これを存続していくためにみんなどうしようかというような、そこら辺からスタートするとか、地域、地域のキーワードを持って取り

組んでいくように皆さんに働き掛けていきたいと思ひます。

もちろん、良い例は広報等で紹介していくのも1つの作戦だと思ひております。

○議長（清水満） 清水議員。

○1番（清水均） 中宿の区長さんおひますが、聞くわけにはいかないと思ひますので次にいきたくと思ひます。

今後4年間の施政方針についてでございますが、チラシも5,000枚を作製したようですが無投票だったため、町長の選挙公約が都合により配布されませんでした。

将来展望について、初日の町長のあいさつの中でお聞きしましたので、より詳細についてお聞きしたいと思ひます。

少子高齢化、人口対策は結婚の希望している人への支援を始めとして移住支援、住宅の確保、雇用の場、住宅の整備、家庭菜園がセットされた住宅、空き別荘の住宅利用、駅前など町の中心地では、集合住宅の建設など検討を始めていく考えとあります。そこでお伺ひいたします。

住宅の確保、住宅の整備とありますが、福井団地地区の生涯活躍のまちづくり検討状況の中間まとめの中で、福井団地には空き店舗、空き住宅が約20件あるそうです。このような空き住宅の利用方法をどのように考えているかについて、町長にお伺ひいたします。

○議長（清水満） 峯村町長。

〔町長 峯村勝盛 登壇〕

○町長（峯村勝盛） 福井団地は、やはりもう1回素晴らしい住宅団地であるということをお再認識して、私は取り組むべきだと思ひております。

最近の住宅関係の新聞、チラシ等を見ますと、福井団地はかなり動きがあるようで、価格が下がったせいもあったかもしれませんが、私はうれしい傾向だと思ひております。

また、今回のパワリハ等々を入れた関係も非常に福井団地の皆さんにとっては、この団地に来て良かったと、住んでいて良かったと思ひてもらえるような1つにもなっております。

そんなことで、家で空いているところ、まだ家が建ててない場所もお存知のとおりいくつもございます。それぞれ県の住宅供給公社からはもう離れて、それぞれの所有者がいらっしやる

場所にはなってございますけれども、不動産屋さんの邪魔にならない程度でご紹介なり、または福井団地のもう少しイメージアップを図るような機会があれば大いにしていきたいと思っています。何と言っても福井団地は素晴らしい団地だというふうに心得ております。

○議長（清水満） 清水議員。

○1番（清水均） ちなみに私の住宅地、約280坪くらいあるわけですけど、前のうちが不動産屋さんへ出したものですから、不動産屋さんに聞いてみました。そうしたら400万だそうです。400万ではいくらなんでも安過ぎます。そういうことで、だんだんと売れるかもしれないと思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。

次に、空き別荘の利用状況とありますが、町長の施策に私は賛成であります。しかし、飯綱東高原関係のことが出てきておりません。飯綱東高原で現在別荘を住宅としている人が、将来移住を考えているような話を聞きました。まず移住を考えている別荘地の人々の意見を聞き、対処方法も考慮する必要があると考えておりますが、町長の意見をお伺ひしたいと思います。

○議長（清水満） 峯村町長。

〔町長 峯村勝盛 登壇〕

○町長（峯村勝盛） 別荘に住んで住所置いておられる方、またはかなり頻繁にお使いをいただいている方、全く来ない人、いろいろあるかと思いますが、私が町長にならしてもらってから2年目ぐらいから、別荘の所有者で住所のない人、いわゆる別荘地として利用されている皆さんとの夏の懇談会を開催してきて、野外でバーベキューをいただきながらというような設定でやってきておりますけれど、そんな時にもいろいろなご意見を聞いたりしてやってきておりますが、非常に第三者的な要望、ご意見をいただいたり、逆にこんな素晴らしい別荘地を何でもう少し上手にアピールしないのかというようなお話も聞いたりしてきております。

私が空き別荘を住宅に利用と申し上げたのは、ほとんど数年お使いにならなような状況の別荘というのも見受けられますので、そういうところを住宅として、まず借りられることができるところは借りたいなと思っています。

これは、オーガニックで別荘管理をしておりますので、プライバシーの問題もございしますが、

うちの方も別荘管理料をいただくという事務もやっておりますので、どちらのどなたがお持ちかという情報は、私どもの手元にはございます。そういう意味での打診をさせていただいたり、冬場の飯綱町は少し厳しいけれども、5月のゴールデンウィークの辺から10月いっぱい、11月いっぱいくらいまでは、そちらで主たる生活をしたという希望の方については、そういう別荘地として貸していただけるようなところがあれば、一時的な利用として使わせてもらいたいという利用もあるのではないかと考えております。

先ほどからいろいろ話題になっている地域おこし協力隊のある人は、今年から飯綱東高原の別荘地をお借りして、住宅として1年ずっと利用させていただきながら、今、地域おこし協力隊の仕事をしておりますけれど、非常に素晴らしい、やはりあそこに住んでみれば良い場所ですので、いろいろな意味で喜んでもらえるのではないかと考えています。

○議長（清水満） 清水議員。

○1番（清水均） 自分のことで申し訳ございませんが、あそこに行ってみると自分もやはり住みたいなと考えています。だけど、400万円では無理ですからね。できないと思います。

次に、日本一女性が住みたくなる町について、目標を達成していくことは至難の業であるとあります。医療、福祉、教育、子育て支援と保育園や小学校の経費に対して、保護者の負担の軽減を検討とある。是非、取り組んでいただきたいと思います。

しかし、また福井団地ですが、福井団地には外で遊び、自分で考え、自分で作る等、自然に体力づくりのできる場所がありません。やはり、幼児期から外で体を鍛えることにより、医療、福祉の将来軽減も図れると思うが、幼児期から自ら考えて遊べるような公園ができないかについて、町長にお伺いいたします。

○議長（清水満） 峯村町長。

〔町長 峯村勝盛 登壇〕

○町長（峯村勝盛） 福井団地には、確か4つぐらい公園がありましたか。遊具がいろいろ古くなったので、その撤去をしたような記憶もございますけれども、そのような場所が使えないというようなものであるなら、別枠で考えていかなければならないと考えておりますけれども、

いわゆる外のいろいろ整備された、そういうところで遊ぶのではなくて、ちょっとした山みたいなところを遊んで歩くというような意味でおっしゃっているとすれば、福井団地の入り口に町有地が約1ヘクタールほど、昔は栗林だったわけですけど、あそこの活用というのも少しいろいろ考えなければいけないと思っておりますけれど、そういうものを整備してあげることによって、子どもたちが魅力を持つ場所になるのであれば、これは今後検討していきたいと思っております。

○議長（清水満） 清水議員。

○1番（清水均） うちの横に山があるわけですけど、里山整備で10メートルくらいずつ全部切られてしまったもので、やぶになってしまって、整備しようかと思ったわけですけど、やぶになってできなくなってしまったので。昔の、今、桜公園というところがあるわけですけど、そこで何とかできないかと思って地主さんに話をしたわけですけど、地主さんは何でも使っていいということだったので、この前、企画課長に話したら、それは良いことだから是非やってみろということで、またやってもらえればと思って考えているわけですが、企画課長、どんな方法でやったら良いですか。

○議長（清水満） 徳永企画課長。

〔企画課長 徳永裕二 登壇〕

○企画課長（徳永裕二） それではお答えをさせていただきたいと思っておりますけれども、昨日もご質問の際にお話をさせていただきました。町では、まちづくり活動支援事業補助金というのものがございまして、住民の方、また各団体でまちづくり事業に取り組んでいただく場合、補助金をお出ししたりしております。

これは町がやっている補助金でして、大きな規模のものになりますと県の元気づくり支援金、こういったものもありますので、是非、必要な時にはご相談いただければと思っております。よろしく申し上げます。

○議長（清水満） 清水議員。

○1番（清水均） 以上で質問を終了いたしますが、新しい議会が始まり、町民の皆様の関心が

高いと思います。

行政と議会が切磋琢磨して、新しい飯綱町づくりを進めていければと思っております。飯綱町全体が一步一步前進できるよう願いを込めて質問を終わらせていただきます。ありがとうございました。

○議長（清水満） 清水議員、ご苦労様でした。

暫時休憩に入ります。再開は10時40分にいたします。